

令和2年度 総合的な学習の時間 全体計画

学校教育目標 考え実践する 海田東っ子
 笑顔・あいさつ・思いやり（EAO）
 - 「よく学び」「よく遊び」「やさしく強く」 -

<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・学校教育法 ・広島県の教育行政重点施策 ・海田町の教育施策 	<p>めざす子ども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかり考え表現する子 ・心も体も元気な子 ・自分や友だちを大切にできる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・学校の実態 ・地域の特色 ・保護者・地域の願い ・小中連携, 小小連携
--	--	--

総合的な学習の時間のねらい

横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域や人と関わりながら主体的・協働的に課題を設定し、よりよく課題を解決するために、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。



各教科の見方・考え方	育てようとする資質・能力			
	【知識・技能】…主体的に活用できる、生きて働く基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。		【思考力・表現力】…比較・分類・構造化・評価しながら、論理的に思考したり、事象を多面的にみたり関連付けたりしながら創造的に思考することができる。	
<p>(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高める。 <p>(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする。 <p>(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数量や図形及びそれらの関係等に注目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考える。 <p>(理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性と共通性の視点や時間的・空間的な視点などで捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。 <p>(生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする。 <p>(音楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けたりする。 <p>(図画工作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだす。 <p>(家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫する。 <p>(体育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適正等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付ける。 	<p>3・4 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い時間の中で人々がつながり形成された風土や文化の上に、地域のくらしが成り立っていること。 ・地域には素晴らしい自然、文化、産業等があり、それらは地域の人々の努力により受け継がれていること。 ・探究的な学習の過程や、伝えたい内容を相手に分かりやすく表現するための表現方法を習得する。 	<p>5・6 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々は自然とうまく共存し、生活していること。(5年) ・地域の未来はこれからの地域の担い手である自分たちにかかっていること。(6年) ・探究的な学習の過程や、伝えたい内容を相手に分かりやすく表現するための表現方法を習得する。 		
	<p>【主体性・自己理解】…目的意識をもち「学びたい」と意欲をもって、解決しようとする。意欲的に課題を発見し、探究し続けようとする。客観的に自己の学びや学び方を振り返ることができる。社会のつながりや学習の楽しさ、自分の成長に気付き、次の学習へ学びをつなげようとする。</p>	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・批判的に考える力 ・未来像を予測して計画を立てる力 ・計画を立てる力 ・多面的・総合的に考える力 	<p>思考力・判断力・表現力等【思考力】【表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動をしたり、日常生活を振り返ったりする中で、学習課題を見付けることができる。 ・身の回りから課題に沿った情報を集めることができる。 ・課題を解決するために収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりなどしながら分析することができる。 ・伝えたいことを中心にまとめ、相手や目的に応じて分かりやすい内容や方法で表現することができる。 	<p>学びに向かう力・人間性等【主体性】【自己理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う力 ・他者と協力する力 ・つながりを尊重する態度 ・進んで参加する態度
	<p>道徳</p> <p>様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考える。</p>	<p>外国語・外国語活動</p> <p>外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築する。</p>	<p>特別活動</p> <p>自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付ける。</p>	

各学年の内容 (各学年 70 時間)

観点	3 学年 (すてき・やさしさ)	4 学年 (つながり)	5 学年 (いのち)	6 学年 (ふるさと)
学習課題	「ふしぎ発見!海田町」 ・海田東小校区ガイドツアー ・人にやさしい町	「みんな大好き 海田の自然」 ・夢と希望のひまわりの花を届けよう 「あなたにありがとう」 ・スマイル大作戦 ・自分の成長を振り返ろう	「めざせ!防災リーダー!!」 ・防災マップを作ろう (自助編) ・調べたことをまとめ、地域に発信しよう (共助編)	「海田東小発未来をえがく」 ・地域とコラボで実現させます ・「海田東小サミット」を開こう (提案編・実践編) ・「ワールドフェスティバル」を開催しよう
学習対象	○校区の魅力 (施設や公園、山や川、史跡など) ○海田町の福祉施設・器具や福祉に携わる人々、盲導犬	○町花「ひまわり」、瀬野川の自然 ○海田町のお年寄りとの交流 ○これまでの支えてくれた人たち	○自然災害の仕組み、防災の取組 ○防災に携わる人々	○よりよい町づくりに取り組む人々、公共施設 ○海田町と関わりのある国々
学習内容	○海田町の魅力に気付き、地域の一員として参加しようとする態度 ○人々とよりよくかかわろうとする意欲や態度 ○地域の人々のよりよく生活するための努力や工夫	○海田町の自然のすばらしさを知り、地域を愛し、守っている人々の思いや願いを学習に生かそうとする態度 ○お年寄りや意欲的によりよくかかわろうとする態度 ○自分たちを見守ってくれる人々への感謝の心	○「いのち」を守ろうとする人々の努力 ○自己の役割に気付き、これからの生き方を考えようとする態度 ○より良い環境をつくり、持続可能な社会や自然と共存しようとする態度	○地域の歴史や人々の努力 ○地域の一員としてよりよい町づくりに取り組もうとする態度 ○外国人の多い町としての特色を基にした世界の文化やくらしについての理解 ○自己の成長の自覚と生き方への反映

指導体制

- 校内の職員との TT・連携
- 地域のゲストティーチャーの活用
- 公共施設などとの連携
- 他校との連携

指導方法

- 課題発見、情報収集、整理・分析、表現、実行、振り返り等の活動
- 協働する活動が必然的に生まれ、社会貢献を視野に入れた学習活動の展開
- 地域での調査や取材活動
- 言語活動を適切に位置付けた、体験の意味の自覚化
- 教科との関連的な指導の重視

学習の評価

- ポートフォリオ等を活用した評価の充実
- 授業分析による学習指導の評価の充実
- 観点別学習状況の評価を把握するための評価規準の設定
- 個人内評価の重視
- 指導と評価の一体化の重視
- 学期末、学年末における指導計画の評価の改善